

学会だより

JDDW2018 第 96 回 日本消化器内視鏡学会総会

福田 眞作

(弘前大学大学院消化器血液内科学講座)

平成 30 年 11 月 1 日(木)～4 日(日), 晴天に恵まれたなか, 平成最後の JDDW 2018 の一環として第 96 回日本消化器内視鏡学会総会が神戸コンベンションセンターで開催されました。会長は藤田医科大学ばんね病院消化器内科の乾 和郎教授が務められました。JDDW としては過去最高の 22,218 人が参加されたとのことでした。

JDDW ならではの企画である統合プログラム 6 題, 女性医師・研究者プログラム, 医療セミナー, メディカルスタッフプログラム 2 題のほか, 日本消化器内視鏡学会としては, 特別講演 2 題, 招待講演 3 題, 主題としてシンポジウム 4 題, パネルディスカッション 3 題, ワークショップ 6 題(コアセッション 3 題を含む)と, いずれも魅力的なプログラムが企画されておりました。私が司会を担当した「小腸内視鏡の新たな展開」というシンポジウムでも多くの先生方にご参加いただきましたが, デジタルポスターセッションも含め, どの会場もたくさんの参加者で溢れており, 会場によっては立ち見が出るほどで, 素晴らしい発表と活発な討論が行われておりました。

JDDW ならびに日本消化器内視鏡学会は国際化を目指しており, international poster session のほか, international session(ワークショップ)として「大腸拡大 NBI 分類(JNET)の国際共同研究(International evaluation of endoscopic classification-JNET (IEE-JNET))」と「悪性胆道狭窄に対する内視鏡治療の現状と問題点(The current state and problem of endo-

scopic treatments for the malignant biliary stenosis)」の 2 題が企画され, 海外の演者を交えての熱い討論が行われておりました。一方, その会場の前では, 神戸の焼菓子和ドリンクが提供される休憩コーナーがあり, 会場内とは異なった賑わいをみせておりました。

会長講演は日本消化器内視鏡学会理事長 田尻久雄教授の司会のもと「胆膵内視鏡の診療における私の挑戦」と題して行われました。乾教授と同門の先生方の胆膵内視鏡領域におけるこれまでのご努力と功績を興味深く拝聴いたしました。

また, ブレックファーストセミナー, ランチョンセミナー, サテライトシンポジウムなど, 全体で 103 ものスポンサーイベントが開催され, 主題が始まる前の朝早くから夕方遅くまで, 各領域におけるトップクラスの演者による講演が行われており, どの会場も盛況でした。

評議員会では, 本学会が日本専門医機構のサブスペシャルティ学会として正式に認められたことが改めて報告され, 2019 年 4 月よりサブスペシャルティ領域の専攻医募集が始まることが報告されました。大きな変革期を迎えていることを実感しました。

次回, 平成から改元されて最初の JDDW 2019 が神戸コンベンションセンターで開催されますが, 第 98 回日本消化器内視鏡学会総会の会長を私が拝命しております。他の 4 学会と協調のうえ, 実りある総会にすべく鋭意準備を進めております。是非とも多くの先生方にご参加いただけますよう宜しくお願いいたします。